

# 陸前高田 未来商店街

## 未来のはじまり

平成24年度 活動報告

(2012年4月～2013年3月)



## < 24年度のふりかえり >

24年度は店舗のオープン、多目的ホールの建設、歩行者道づくり等の商店街空間を整備していくまさに商店街を立ち上げることを何よりの目標として活動してきました。

途中、工事等が停滞しプロジェクトに遅延が発生し、予定よりも約半年遅れましたが、全11店舗がオープンする目処が経ちました。

オープン準備ができた店舗からオープンしていく方式だったため、立上げと運営の両方を行わないといけませんでした。週末のけせん朝市を中心に全国から未来商店街を応援しにやってきた団体の皆さんとイベントを行い、販促ならびに商店街のPRを行いました。

活動の詳細は次項からご覧下さい。

## コンテナ店舗のオープン(12年2月～5月)

12年2月からプレオープン形式で出店予定店舗の準備が出来次第オープンしていきました。

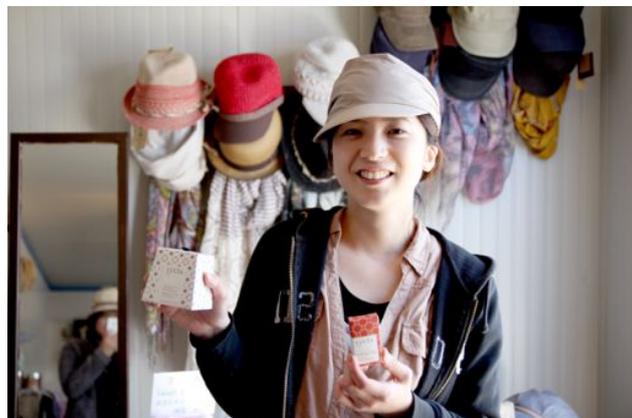
### ドコモショップ大船渡店 オープン



未来商店街1店舗目はドコモショップ大船渡店陸前高田出張営業所でした。

営業日は毎週末の金曜と土曜のみになりますが、陸前高田に1店舗のみなのでドコモユーザーの方は大助かりです。店内では電話料金の支払い、機種変、操作のレクチャー等親身に対応してもらえます。

## Laugh(ラフ)オープン



4月28日、陸前高田出身で震災後Uターンし起業した菅野(恵)さんのお店、雑貨屋 Laugh がオープンしました。

“陸前高田の女性にお洒落を楽しんでもらいたい”という想いを  
持ってセレクトした帽子やストールやワンピース等の衣料品や石鹼  
やアロマオイルが主な商品です。地元陸前高田のぶどうを原料に作  
ったオリジナル石鹼”ラフぷる〜ん”は発売から1ヶ月で3000個を  
売り切る主力商品となっています。

コンテナ店舗の外観は菅野さんの友人とボランティアスタッフで  
デザインから考えた手づくりの外壁に仕上がっています。

## Bricks. 808(ブロックハチマルハチ)オープン



5月5日、カフェレストラン Bricks. 808 がオープン。震災前は駅前  
で営業していましたが、津波で流され未来商店街で営業を再開し  
ました。

地元陸前高田の農家から仕入れた野菜や岩手県産の肉、魚を使っ  
た創作料理を提供しており、営業時間はお昼の部と夜の部の2部構  
成となっています。

外観と店内の壁画は事務局種坂さんの大学の先輩である油絵画家  
の藤本絢子氏が手がけました。こちらもマスターの熊谷さんとデザ  
インから一緒に考えて製作したもので手づくり感のある仕上がりにな  
っています。



コンテナ店舗の断熱処理については日本塗り替え研究会の皆様がボランティアで未来商店街を訪れ手がけて頂きました。

## 多目的ホールの建設(12年10月～13年1月)



13年1月には商店街内にコンサートや展示会等のイベントや会議等の幅広い用途で利用できる多目的ホールが完成しました。

建設にかかる費用については株式会社ローランド・ベルガー様、株式会社良品計画様より出資頂いた補助金、12年7月に商店街で開催した益子焼陶器市の寄付、けせん朝市へ頂戴した募金を集めて590万円をかけて建設しました。

工事請負業者は矢作住建、設計はKEN設計の及川 賢治氏にそれぞれ依頼しました。多目的ホールの構造は木造建ての長屋になっており、広さは20m×7.5mの150㎡あります。

多目的ホールは陸前高田市内で活動する団体や市外から陸前高田の町へ支援に来た団体や企業への貸出しを行っています。

13年2月から現在までコンサートや展示会等のイベントや会議等の幅広い用途で利用されています。

けせん朝市も多目的ホール完成後はホール内で毎週土日に営業しています。

### 竹駒地区商業拠点づくりプロジェクト（13年1月～12月）



公益財団法人トヨタ財団が行っている2012年度国内助成プログラム「特定課題」活動助成に応募し、250万円の助成金を採択頂きました。

助成頂いたプロジェクトは「市民の交流・憩いの場となる竹駒地区商業拠点づくりプロジェクト」です。

2013年1月～12月末の期間内で未来商店街が地域住民の集まる憩いの場となるための空間整備や商店街のある竹駒地区に集積しているスーパーや個店、銀行との協力体制をつくるエリアマネジメントに取り組んでいくことになりました。

## ■ 歩行空間づくり



2013年1月から大船渡市の庭師、花風通さんを中心に愛知よりお越し頂いた庭ジャパンさん、ボランティア大工の皆さんにご協力頂き商店街空間の整備を行いました。

前半は来街したお客様の足場の安全を確保するための歩行空間を作っていました。事務局種坂さんと花風通さんで導線の検討と道路に使う素材の選定し、施行しました。

歩道から店舗前までのアプローチについては、花風通さんと各店の店主さんがデザインから素材の選定までを行いました。

各店の個性が出たアプローチに仕上がり店舗の魅力が更に増しました。



## ■ 植樹作業



歩行空間完成後は庭ジャパンさんが中心となり、歩道沿いに植物を植樹しました。

たくさんの種類の苗木や花苗を植えていきました。商店街の中央を流れる川沿いには桜の苗木を植えて頂きました。

## ■ 木柵設置工事



お客様の転落事故防止のため、商店街の敷地内を流れる川沿いを中心に木柵を設置しました。

グランドオープン後に多くのイベントや夜間に来街するお客様が増えることを見込み設置しました。

歩行者道の整備から植樹、木柵の設置まで約2ヶ月間をかけて未来商店街の景観づくりに取り組みました。

## プレハブ店舗オープン(2013年2月～3月)



2012年12月から本格的にプレハブ店舗棟の工事が着工されました。当初の予定より半年遅れで工事ははじまりました。約一ヶ月半かけて外装工事は終了し、各店舗内装工事へ取りかかりました。



## 手芸用品スタイル オープン



スタイルは震災前、市内の商業施設のテナントで営業していましたが、津波で店舗を失いました。主に手芸用品を中心に販売しています。週1回、手芸教室も開催しています。

## ファッションロペ東京屋 オープン



震災前は駅前で営業していたファッションロペ東京屋。震災後は化粧品や女性向けの衣料品、トレカ等を取扱っています。

柄デザイナーの高橋昌子氏に協力頂き、オリジナル商品“未来の一本松シリーズ”を展開しています。

## 桜木家具店オープン



震災後は矢作町で仮営業していましたが、本格的にオープン。展示ルームは1階と2階になっており、1階ではカタログを見ながら商品を選ぶこともできます。

モダンな洋風家具から伝統工芸品の岩谷堂箆笥などの和風家具までインテリア全般を取り扱っています。

## 味と人情の鶴亀鮓オープン



震災後は11年12月に竹駒町に仮店舗をオープン。その後、営業を続けながら未来商店街店のオープン準備を進めてきました。

1階はカウンターとテーブル席、2階は最大30人収容の宴会場を完備しています。営業は昼の部と夜の部の二部構成で出前も承って

います。

## 未来商店街グランドオープン(2013年3月23日-24日)



約1年半の長い道のりでしたが、11店舗中7店舗が開店を果たしグランドオープンを迎えることができました。当日行ったオープニングセレモニーでは商店街の立上げでご支援頂いた方々に全国から沢山お越し頂き、盛大に執り行うことができました。

2日間を通して雪の降る寒い日でしたが、餅まきやスコップ三味線のコンサート、和太鼓の演奏、卓球大会といったイベントを多くの方に協力頂き開催することができました。来場者は2日間で約300人ほどでした。

## 商店街で開催したイベント(2012年4月～2013年3月)

商店街としてはまだオープンしていませんでしたが、全国から沢山の団体がやってきて未来商店街でイベントを開催してくれました。

<4月>

### エイサー踊り(愛知県エイサー協議会)



<7月>

### 益子焼陶器市



< 8月 >

Light Up Nippon



< 12月 >

RAG FAIR チャリティーライブ



## 宮崎県川南町物産ブース in けせん朝市



## けせん朝市 詰め市



< 13年1月 >

けせん朝市 売初め市



< 2月 >

お笑い芸人ライブ (沖縄やんばるクラブ)



<3月>

BRT バス開通記念イベント (JR 東日本)



絵本の読み聞かせと花苗配布イベント (株式会社ディノス)



## 商店街づくりワークショップの開催



2012年6月より NPO 日本都市計画家協会の復興支援タスクフォースのメンバーと共に「未来商店街をこんな商店街にしたい」というテーマでワークショップを開催しました。

商店街の店舗配置や導線といった商店街全体の空間設計や照明計画等の環境整備、助成金申請書類の申請サポート等をお手伝いして頂きました。12年度は主にハード面の課題に対してワークショップを4回開催しました。

13年度はマーケティング調査や竹駒地区のエリアマネジメントといったソフト面の課題に対して取り組んでいく予定です。

## みちのくインターンシップの実施



未来商店街の紹介冊子



おもてなしツアーの様子



交流イベントの様子

2012年8月～9月の2ヶ月間、NPO法人ETIC.(エティック)が主催する東北地方で活動する団体に大学生を派遣し、実際に現場体験をさせるインターンシッププログラムへ参画しました。

約2ヶ月で6名の大学生を受入れ4週間という限られた期限の中でフィールドワークを行い、どうすれば未来商店街として地域を盛り上げることができるかをテーマに活動してもらいました。

その集大成として、1期生は未来商店街を地域の人へ紹介する小冊子を製作しました。

2期生は商店街という場を使い、そこに地域のお母さんたちを集めて陸前高田のおふくろの味をテーマに、参加者と一緒に料理を作り交流会をするイベントを企画し実施しました。

3期生は未来商店街のお店を地域の人にもっと知ってもらうことをテーマに未来商店街に来たことのない地域住民を集め、商店街の4店舗をまわるおもてなしツアーを企画しました。

## メディア掲載情報(店舗ごとの取材は除く)

### 【書籍】

- ・BRUTUS 7月号 「新しい仕事と僕らの未来」
- ・CLC地域通信みやぎ 8月号 「商店主たちが描く陸前高田の未来」
- ・フライキ! 12月号 「釜石復興事業ケーススタディ」
- ・ソトコト 13年2月号 「地方の地域に住んでみる」
- ・ソトコト 3月号 「社会を元気にするNPO特集」
- ・いいことマップVol.4 3月
- ・月刊Vivitto4月号 3月 「復興商店街特集」

### 【テレビ】

- ・NHKニュース 2012年7月
- ・はなまるマーケット 2013年3月